

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大谷和雄
 幹事 池田 隆
 会報委員長 浅井 誠寿

まことの幸福は人助けから

No. 27

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

1992~93年度 RI会長 クリフォード・L・ダクターマン

第512回例会 平成5年2月9日(火) 晴

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 70(64)名 出席 47名
 出席率 73.44%
 前回 2月2日 (修正出席率) 95.31%

◇ビジター紹介 6名

◇お誕生日祝福

小山夫人 (2/13)

◇ニコボックス

秋山 茂則君 暑かったり寒かったり変な冬です。

安藤 鐵之助君 節分会突然欠席しました。

今西 幸一君 先日は節分例会大変有難うございました。

加藤 大豊君 水野(民)さん藍綬褒章受賞おめでとうございます。

久保田 皓君 手相見て頂けなくて残念ですが、仕事の為早退いたします。

三好 親君 寒くなりました。

水野 民也君 退院色々ありがとうございます。

西村 禎二君 先日節分例会にはお寒い折り、多数ご参加を頂き有難うございました。立春より新しい年とも申します。皆様一層がんばって下さい。

鷺野 義明君 先日は母の葬儀に際して色々とお世話になりました。お陰で立派に送り出すことが出来ました。有り難うございました。
小山 雅弘君 夫人誕生日祝い。

◇池田幹事報告

1. 名古屋・南京友好都市提携15周年記念名古屋市民親善訪問団の募集ご案内が来ますので、参加希望の方は事務局までお申し出下さい。

2. 次回例会は17日(水)5RC合同例会で、ホテルナゴヤキャッスルにて12:30より開催いたします。16日(火)の例会はございませんの

で、お間違いないようご出席下さい。

3. ロータリーの友2月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◇鷺野 義明君挨拶

今月2日の母の葬儀に際しまして、大変多くの方にお世話になりありがとうございました。お陰様で、立派に送り出すことができました。

私の父は昭和19年に亡くなりましたので私はずっと母親に育てられました。12月には父の50回忌を終えたばかりでした。母は明治41年生まれ数えて86歳で大往生しました。

皆様その節は本当にありがとうございます。これをもちましてお礼の挨拶とさせていただきます。

◇大谷会長挨拶

♪花のコーラス—作曲と編曲♪

11月17日に男声合唱と女性合唱をお聞きいただきました。今日は「わらべうた」の「ほたるこい」をお聞き下さい。「わらべうた」は、明るく、楽しくその上「いたずらっぽい」ところがあります。それはリズムから来るのかも知れません。

・清水 修作曲 指揮 三宅洋一郎

ピアノ 三浦洋一 合唱 日本女声合唱団

・小倉朗作曲 指揮 高野広治

合唱 FMC合唱団

小倉さんの曲は「東北地方のわらべ唄による九つの女声合唱曲」の中にあり、外国の合唱団がよく歌います。ことに、国立ハンガリー少年少女合唱団の得意のレパートリーとなっています。小倉さんは日本民謡などを素材にした曲に特色があります。先日お聞き頂いた「お正月ええもんだ」もそうです。

清水さんの作品は多岐に亘っていますが、合唱曲が中心です。オリジナルな合唱曲「月光とピエロ」など、仏教賛歌もあり、日本民謡・古謡・わらべうたを素材にしたものが多くあ

ります。次は、清水さん編曲の「向こう横町」です。

指揮 磯部 倣 ピアノ 橋本 正暢
合唱 ヴォーチェ・アンジェリカ

編曲は原曲に拘束されます。この曲も、メロディーをソプラノが歌い、次にアルトに変わる。少人数でよいし、家庭や、P・T・Aのコーラス向きです。やさしく、楽しい編曲です。つまり使用目的によって制限をうけます。演奏目的や演奏者に適合しなければなりません。編曲者の個性はその曲の大きな魅力となりますが、オリジナルではあり得ません。編曲者の豊富な知識の中から手法の選択によって生まれます。一方、作曲はオリジナルな発想に、作曲者の個性や、芸術的な靈感が加わり、高度な芸術的燃焼が要求されます。編曲と異なり、まったく自由で技法にも構成にも縛られません。

◇講演

“椋山女学園大学易学研究会の歩み”

椋山女学園大学 易学研究会

中西 富子さん (紹介 水野(民)君)
初めまして。椋山女学園大学、易学研究会です。皆様方の中には、もしかすると“椋山易研”の名を聞くのが初めてでない方もいらっしゃるかも知れません。今日は、そんな方にもあまり知られていない、易研の歴史をお話しようと思います。

易学研究会は昭和62年4月に、学内サークルとして、発足しました。その年は椋大に、人間関係学部が創設された年であり、当時の易研は人間部みのサークルだったため、サークル員数は90名と、それ程大きなサークルではありませんでした。翌年4月に、全学生委員会から同好会として承認され、平成2年に、やっとクラブに昇格しました。この頃から部員が増え始め、平成3年には200名、4年には300名を越える大所帯になりました。

ここまで大きなクラブになれたのは、やはり顧問である、加藤 主税先生のおかげに他ならないでしょう。先生は、阪大手相研究会初代部長を務め、現在は椋大英語教授をする傍ら、中日文化センター占い講師として活躍中のマルチタレントです。その先生からの教えであり、私たちの占いが目指すところは、「夢と希望を与える占い」です。ただ、いたずらに悪いことばかりを教えるのではなく、苦境を乗り越えるためのアドバイスを与え、自分の内に秘める可能性を信じられるよう、人々に接することが私たち易研の占い方針です。その為の活動として、椋大祭の初め、他大学祭への参加、チャリティー占い各種イベントへの参加をしています。チャリティー占いで昨年好評を頂いたのは、通信手相占いです。手相のコピーをもとに占いをするという企画で、広

い年齢層の方々から支持して頂きました。

世代交代により平成5年度の易研になりました私たちは、私たちなりに充実した易研を創っていかうと思います。

この後、中西さん他4名のメンバーの方々に会員一人一人手相を見て頂きました。



時間が短かったのが残念でしたが、普段占いと縁のない会員の皆さんも楽しいひとときを過ごされたのではないのでしょうか。

《雑誌の窓》

ロータリの友1月号を読み、所感を申し上げます。

今月号は、ロータリー理解推進月間として①会員に、ロータリーの知識と理解をより深めてもらう。②ロータリアン以外の方に、ロータリー活動を知ってもらう。この2点で特集が組まれております。

その中で、「もしロータリーがなければ」とのタイトルで、日本ロータリーの主だった実績がまとめてあります。

寄付金による奨学金事業、交換留学生、ポリオ・プラスキャンペーン、海外援助事業など、ロータリーならではのスケールを生かした活動が紹介されており、大ワクで奉仕活動の内容が理解できたと思います。

ただ、記事の中には中にはお金を出すだけでなく直接の奉仕活動も必要だとのお話もあり、昨年末、国会で激論されたPKO問題によく似ていると興味深く読ませていただきました。

新入会員として、加入動機はもっと単純でしたので、これを機会に、学習せねばと思っております。以上 報告と致します。

担当 田部井 良和君

◇お知らせ

会員 大谷 和雄君が2/8付でシニア会員になられました。

◇次回例会(2月17日)

5RC合同例会(東、和合、名東、昭和、千種)
(ホテルナゴヤキャスルにて12:30より)

◇次々回例会(2月23日)

講演 “無題”

会員 水野 賀統君